

## ロンドンオリンピック、将来的なサステナビリティの発展に向けて: セーリング競技場でのISO 20121の取得事例



### 効果的な廃棄物処理の管理とエネルギー利用の改善により、オリンピック会場の公益事業コストの15%削減を実現

"ISO 20121 認証取得によって、私達がベストプラクティス・フレームワークを運用し、サステナビリティ(持続可能性)を適用して発展できている事を、効果的にアピールできています。

**John Tweed**  
Chief Executive,  
Weymouth and Portland  
National Sailing Academy

なぜ認証が必要だったか？

- ロンドンオリンピック委員会(LOCOG)が、2012年のオリンピック競技のために定義した、Sustainable Sourcing Code(持続可能な調達規定)への対応するため
- サステナビリティを持つ競技施設として"ウェイマス&ポートランド・ナショナルセーリングアカデミー(WPNSA)"をプロモーションし、より多くのビジネスチャンスに繋げるため
- 自組織から発生する環境への影響を検証し、環境への配慮が完全に考慮された体制を構築するため
- 持続可能な発展の確立を目指した "One Planet Living" の原則に基づいた体制構築のため

認証取得で得たメリットは？

- より効果的な廃棄物処理の管理促進と、消費電力の最適化による約15%のコスト削減
- ビジネス取引のライセンスを得るため: ロンドンオリンピック委員会(LOCOG)の要求を完全に満たし、2012年のオリンピック会場の調達パートナーとしてふさわしいステータスを示した
- 持続可能なビジネスとして、国際的な評価と認知度を高めた
- 施設の法的違反の可能性を減少させ、会場施設の将来的な発展の基盤を築くことができた

## 会社概要

ウェイマス&ポートランド・ナショナルセーリングアカデミー(WPNSA)は、世界最高のセーリング競技場の一つとして評価されており、2012年のロンドンオリンピック及びパラリンピックのセーリング競技場として選ばれました。

優れた競技会場や会議施設、世界レベルのアスリートのためのトレーニング施設、またポートホイスともWPNSAに設備されています。

CEOのジョン・ツイード(John Tweed)は「WPNSAは最善の方法で施設・サービスを展開することができる、世界レベルの競技場です。」と述べています。

「私達WPNSAは、堅牢なマネジメントシステムを通じて、サステナビリティへの明確なコミットメントを示しています。ISO 20121 認証取得によって、国際的に認知された要求事項を満たすことで、サステナビリティとサプライチェーンを統合し、セーリングイベントの招致をより活性化することができると思っています。」

### 認証取得の動機は？

ロンドンオリンピック委員会 (LOCOG) が2012年のオリンピック競技のために定義したSustainable Sourcing Code (持続可能な調達規定) の一環として、全てのサプライヤーとライセンス所有者に対して、イベント・サステナビリティのためのマネジメントシステムの運営を求めたのがきっかけです。それに該当したのがISO 20121でした。

The Royal Yachting AssociationとBritish Marine Federationの共同環境イニシアチブのオフィサーである Dan Readingは、「何百のポート競技イベントを開催する世界的な競技場として、WPNSAからベストプラクティスのお手本となるものを発信したいと考えていました。」と述べています。

「WPNSAはロンドンオリンピックの開催地だったため、ロンドンオリンピック委員会の必須項目である、持続可能性のある競技場を提供することが不可欠でした。BS 8901、その後ISO化した ISO 20121 を早期に取り入れたことで、競技期間中に発生したサステナビリティに関連する問題を効率的に管理し、マイナスの影響を最小限に抑えることが出来ました。」とCEOのジョン・ツイード(John Tweed)は振り返ります。

## 運用面に関して

ISO 20121 の利点は、マネジメント面のベストプラクティス・フレームワークを確立できることにあります。組織自身がイベントにおけるサステナビリティの問題を把握し、将来的な悪影響を最小限にする必要性を理解することができます。

ISO 20121 は、組織がスコープを定義し、持続可能なマネジメントシステムを運営するうえで、どの活動と機関(施設)が管理されるかを明確化することが求められます。

WPNSAはまず、広範囲のサステナビリティに関する問題の把握のため、主要な利害関係者を特定することから始めました。WPNSAは既に環境・社会経済的要因への貢献活動を行っていましたが、その多くは文書化されていない状態でした。

「新しい規格は何を私たちに期待しているのか、最初は本当にわかりませんでした」オフィサーの Dan Readingは振り返ります。

「当初から難しい作業になることは承知していましたが、どこまでを規格の登録範囲として定義するかは非常に考えられましたね。オリンピックや競技開催のために明確にする必要があったので、結果多くの時間を費やして対応することになりました。」

ISO 20121 はまた、組織自身がその活動・製品・及びサービスに適用される法的要件を特定し、それらがどのように適用されているかを理解することを要求しています。

「サステナビリティ関連の法的要件を適用する作業は非常に難しいチャレンジでしたね。しかし、規格の要求事項を満たすと同時に、私たちのコンプライアンスの義務を明確化することは、非常に意義のある作業だと感じています。」

### 認証から得た利点は？

WPNSAは、BSIからの認証を通じて、以下のような多くの利点を得たと振り返っています。

**コスト削減:** WPNSAは廃棄物処理の管理と消費電力の改善により、約15%のコスト削減に成功しています。使用されているリソースの検証が改善されたことで、光熱費の使用状況がより改善され、コスト削減を達成することができました。

**ビジネス市場へのアクセス:** ISO 20121認証取得によって、WPNSAは魅力的な競技場として、より多くのビジネスから注目されるようになりました。サステナビリティの証明、施設、場所の面などで市場からポジティブに考慮され、WPNSAはより魅力的な競技場として今日高い評価を得ています。

### コンプライアンスに関しての利点:

認証プロセスは法的違反のリスクを軽減し、将来的に使用できる競技場ということが証明できます。

### 利害関係者への信頼:

ISO 20121 認証取得によって、WPNSAは利害関係者との信頼性を向上しています。特に、イベントに対する影響について懸念がちな利害関係者との関係を劇的に改善することが出来ました。お互いのコミュニケーション向上もあり、より良いパートナーシップの実現を達成しています。

一例として、現地慈善団体である Chesil Trustと協力し、約9,000人以上の子供たちが「5ポンド」で参加できるサービスを始めました。この試みは大成功を収め、年間で1,170万ポンド以上の追加収入があり、地域経済に多大な貢献することができました。

### プロセスの改善:

持続可能なマネジメントシステムによって、組織内に継続的改善の文化を創出し、効率的な運用と新しい考えをもたらしました。

CEOのジョン・ツイード(John Tweed)は次のように述べています。

「私達のビジョンは、サステナビリティを組織の基準として設定することでした。ISO 20121を導入したことで、ロンドンオリンピックの2012年以降も、信頼できる競技場として、より多くの国際セーリングイベントを開発し、WPNSAを多くの方に利用していただくと確信しています。」

ISO 20121 は、BSIが開発に関わった BS 8901に基づき策定が進められました。イベント・サステナビリティマネジメントシステム規格ISO 20121は、オリンピックのような国際イベントから地方のお祭りまで、あらゆるタイプのイベントに適用が可能です。また、イベントに関わるすべての利害関係者によって活用されるマネジメントシステムです。イベントの主催者はもちろんのこと、イベント会場(ホテル、会議場、競技場など)、イベントに関わる施工業者、サプライヤーにとってもこの規格を活用するメリットがあります。

**bsi.**

BSI グループジャパン株式会社  
Mail: Japan.Marketing@bsigroup.com

www.bsigroup.com/ja-JP/



By Royal Charter

最新情報はこちらへ

<https://www.bsigroup.com/ja-JP/ISO20121/>